



開山四百回忌・十八世慧運洞光大和尚七回忌報恩大授戒会無事円成！

この広厳寺境内風景画は説戒師をお勤めの宮崎県昌竜寺住職・元大本山總持寺布教部長・靈元丈法老師が授戒会前日に描かれたものです。

乗雲

寺報
第88号

H25.9.1 発行

編集人

〒959-2646 新潟県
胎内市西栄町 2-8
TEL0254-43-2419
FAX0254-43-4560
広厳寺
住職 神田英俊

メール

otera@kogonji.jp

授戒会の説戒師をお勤めの靈元丈法老師より御礼のお手紙を頂戴しました。

▼随行長・説戒師という名誉ある大役でしたが、戒師様の寛容と随喜の和尚様方の手助けで責務を全うできました。なにしろ足かけ九年の總持寺役寮ですから、修行は永平寺といっても進退が全く違います。でも気遣いを頂いて何とかこなせました。しかし、副貫首老師のお徳と引請師神田堂長（現役の新潟県第四宗務所長）の人脈で両山相和しての素晴らしい戒会でした。永平寺維那が三人、先導師寮に所長経験者が四人もいる豪華版！更に總持寺の元布教部長と現役の永平寺布教部長が説戒と説教を受け持つというめったにない戒会となりました。南澤老師とは七百五十回大遠忌の監院様で文化委員としてお仕えさせて頂きました。遠忌特別焼香師の提案を、聞き届けて頂いたことは幸せでした。その後も中川正寿師のドイツ普門寺晋山落慶でもご一緒し、總持寺では副貫首拝登の先導師をお勤めさせて頂き縁を深くしました。少し太られましたが、八十七歳のご高齢にもかかわらず、ご自信で坐具を

ひかれ、供養の繞行も全てなさるというお元気で感動いたしました。教授師の大栄寺様は剛胆磊落なお師家様ですが、同宿のホテルで毎朝暁天・朝課を欠かさず勤められ道心の深さに感服しました。神田師は同安居といっても七つほどですが、所員を始め若手まで全面的に協力を惜しまない人徳はさすがです。五年間安居し、その坐相とまじめさは二祖様遠忌の「孝順心」の大ポスターのモデルとなったことでも伺われます。それに輪をかけて、三人の子を全て坊さんに育て上げた奥様の内助の功に頭が下がります。戒会中も黒子に徹して戒弟さんのお世話をしておられました。聞くところによると三流派の禪に参じ、本山授戒で知り合われたとか？子供さんの安居仲間もたくさん駆けつけて、その徳が益々の広がりを見せているようでした。雪国の信仰の厚さを僧俗共にみせていただきました。

▼靈元老師にはご遠方のごところご無理を承知で随行長兼説戒師をお願いし快く受けて頂きました。同安居とはいえ、年も上でありいろいろとご指導いただきました。